

## 第 25 回時計技能競技全国大会

### ■募集要項

#### [ 1. 競技日程 ]

11 月 21 日 (水)	14 : 00	選手集合・席順抽選
	14 : 30～	開会式
	15 : 30～	準備
	18 : 00	解散
11 月 22 日 (木)	8 : 30	選手集合
	8 : 30～	人員点呼
	8 : 40～	競技の説明
	9 : 30	競技課題 I の開始
	12 : 30	競技課題 I の打ち切り
	12 : 30～	昼食
	13 : 20	着席
	13 : 30	競技課題 II の開始
	17 : 30	課題 II の打ち切り
	17 : 30～	片付け・梱包
	18 : 30	解散
11 月 23 日 (金)	8 : 50	集合
	9 : 00～	閉会式・表彰式
	11 : 00	解散

#### [ 2. 競技開催会場 ]

近江神宮内「近江勸学館」

〒520-0015 滋賀県大津市神宮前 1 - 1

Tel. 077-524-3940 Fax. 077-522-3618

#### [ 3. 競技課題概略及び制限時間 ]

##### ○第一部門

##### ・課題 I (SEIKO Cal. 7T 系)

クオーツクロノグラフの故障診断修理とオーバーホール・電気特性等の計測・等

##### ・課題 II (SEIKO Cal. 7S 系)

機械式時計の故障診断修理とオーバーホール・時間調整・等

※制限時間 7 時間 (課題 I は競技開始から 3 時間以内に提出すること)

○第二部門

・課題 I (SEIKO Cal. 7T 系)

クオーツクロノグラフの故障診断修理とオーバーホール・電気特性等の計測・等

※制限時間 3 時間

[ 4. 募集期間]

募集開始：平成 24 年 7 月 2 日 (月) AM10:00～

募集締め切り：平成 24 年 7 月 13 日 (金) PM5:00 (時間厳守)

[ 5. 申し込み方法]

別紙申し込み用紙に必要事項を記載し、上記期間中に申込書を FAX 送付してください。

[ 6. 問い合わせ先]

ジョウ・ジャパン事務局

Tel. 03-3833-7821 Fax. 03-3833-7823

## 第 25 回時計技能競技全国大会

### ■開催要項

#### 第 25 回時計技能競技全国大会開催要綱

名称：第 25 回時計技能競技全国大会

主催：ジョウ・ジャパン（全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合）

後援：厚生労働省／滋賀県／中央職業能力開発協会／（一社）日本時計協会

日時：平成 24 年 11 月 21 日（水） 開会式 午後 3 時 00 分

22 日（木） 競技 午前 8 時 30 分

23 日（金） 表彰式 午前 9 時 00 分

閉会式

会場：〒520-0015 滋賀県大津市神宮前 1-1

近江勸学館 Tel. 077-524-3940 Fax. 077-522-3618

競技部門：

○第一部門（メカ・クォーツ）

課題Ⅰ セイコー 7T アナログ表示水晶腕時計、クロノグラフ機能、日表示機能

課題Ⅱ セイコー 7S 機械式自動巻き腕時計、日・曜表示機能

○第二部門（クォーツ）

課題Ⅰ セイコー 7T アナログ表示水晶腕時計、クロノグラフ機能、日表示機能

表彰：

○第一部門

優勝 厚生労働大臣賞

準優勝 中央職業能力開発協会会長賞

優秀賞 JOW・Japan 理事長賞

技能賞 JOW・Japan 競技委員長賞

○第二部門

優勝 厚生労働省職業能力開発局長賞

準優勝 （一社）日本時計協会会長賞

優秀賞 JOW・Japan 理事長賞

技能賞 JOW・Japan 競技委員長賞

※参加賞 各自が競技に使用した時計

第一部門参加者：メカ時計、第二部門参加者：クォーツ時計

参加費：

○第一部門 1名 29,000円（消費税含）

○第二部門 1名 22,000円（消費税含）

※参加費の返却について：9月25日（火）以降の辞退は返却しない。

参加資格：特に問わない（進行は日本語で行う）

参加人数：各部門とも20名を上限とする。但し、両部門の合計人数が40名を超えた場合は調整を行う。

申込締め切り：平成24年7月13日（金）FAXの申込可

#### [結果]

第25回の時計技能競技全国大会（主催＝全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合＝ジョウ・ジャパン、後援＝厚生労働省、滋賀県、中央職業能力開発協会、（一社）日本時計協会）は、11月21日から23日までの3日間、滋賀県大津市の近江勸学館で開催された。

昨年の大会は、技能五輪での時計修理種目復活の流れを受けて、長野県諏訪市にて開催されたが、本年は例年通り、滋賀県・大津市の近江神宮内、近江勸学館にて開催された。競技は第1部門（機械式時計、クォーツ時計）と第2部門（クォーツ時計）に分かれて7時間にわたって行われた。出場者は第1部門15人、第2部門14人の合計29人（うち女性参加者は6人）が全国より集まった。全参加者の年齢は幅広く、時計技能が注目されていることがわかる。

開会式は11月21日に行われ、鴨下運営委員の司会により始まり、近藤大会会長（ジョウ・ジャパン理事長）があいさつを述べた。続いて来賓として滋賀県商工労働部尾上謙輔主任主事、近江神宮宮司・近江時計眼鏡宝飾専門学校校長佐藤久忠氏が参加者を激励した。翌22日は7時間にわたり第1部門（機械式時計、クォーツ時計）、第2部門（クォーツ時計）において競技が行われ、参加者は日々の仕事で培った時計修理技術をいかんなく発揮した。23日に行われた閉会式で藪内大会副会長（ジョウ・ジャパン副理事長）は開催協力に対する謝辞を述べるとともに式辞を述べた。

来賓として（一社）日本時計協会の佐藤孝雄専務理事、近江神宮宮司・近江時計眼鏡宝飾専門学校校長佐藤久忠氏がそれぞれ祝辞を述べ、出場選手を称えた。

入賞者は次の通り。敬称略。

#### ■第1部門

優勝＝厚生労働大臣賞 伊藤一季（セイコーサービスセンター(株)）

準優勝＝中央職業能力開発協会会長賞 松尾健（盛岡セイコー(株)）

優秀賞＝全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合理事長賞 加藤宏和（セイコーサービスセンター(株)）

技能賞＝全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合競技委員長賞 陣場英幸（㈱二戸時計工業）

■第2部門

優勝＝厚生労働省職業能力開発局長賞 相馬弘希（セイコーエプソン㈱塩尻事業所）

準優勝＝（一社）日本時計協会会長賞 佐々木秀幸（盛岡セイコー㈱）

優秀賞＝全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合理事長賞 佐藤愛梨奈（シチズン東北㈱）

技能賞＝全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合競技委員長賞 古林美里（シチズン平和時計㈱）